

1. 戦略立案に関して～「戦略プラン(仮称)」の策定～

- 「戦略プラン(仮称)」は、政府の「中長期ロードマップ」の改訂に反映することを目的に作成するもの
- まず、①燃料デブリ取り出し、②廃棄物対策、及び③建屋止水の3分野について、早期に原子力損害賠償・廃炉等支援機構の考えをとりまとめる
- 廃炉等技術委員会に加え、専門分野毎の検討の場を設けることとし、構成員は廃炉等技術委員、東京電力、プラントメーカー、関係政府機関等から選定

2. 必要な研究開発の企画や進捗管理

- 「戦略プラン(仮称)」及び「廃炉等技術研究開発業務実施方針」に基づき、官民の役割分担と連携を踏まえた上で、研究開発の企画を行う
- 研究開発の進捗管理及び成果の評価を行うとともに、国内外技術の評価を行い、「中長期ロードマップ」に基づく着実な廃炉の実現につなげる

3. 重要課題の進捗管理の支援

- 政府と東京電力による、汚染水タンク増設、ALPS増設及び凍土壁に関する進捗管理に参加し、技術的検討を支援する

4. 国際連携の強化

- 原子力以外も含めた幅広い分野からの知見や経験を国外からも結集する
- 廃炉作業で得られる情報・研究成果等を集約し、国外にも適切に発信する